

105-165

問題文

35歳女性。身長 150cm、体重 65kg、血圧 138/90mmHg、喫煙歴あり(30本/日)。仕事が忙しくなりストレスが溜まり、暴飲暴食で早食いとなった。

ある日、突然、今までに経験したことがない心窩部痛におそわれ、心配になり近医を受診した。検査の結果、逆流性食道炎と診断され、下記の処方では治療が開始され、2ヶ月ほどで軽快した。

(処方1)

ランソプラゾールカプセル 30 mg 1回1カプセル (1日1カプセル)
1日1回 朝食後 7日分

(処方2)

モサプリドクエン酸塩錠 5 mg 1回1錠 (1日3錠)
1日3回 朝昼夕食後 7日分

問165

この患者に処方されたそれぞれの薬物の作用機序として正しいのはどれか。2つ選べ。

1. ヒスタミンH₂ 受容体遮断
2. アセチルコリンM₃ 受容体遮断
3. H⁺,K⁺-ATPase阻害
4. セロトニン5-HT₄ 受容体刺激
5. ドパミンD₂ 受容体遮断

問166

この患者に関する記述のうち、適切なのはどれか。2つ選べ。

1. 食道下部括約筋の収縮により、胃酸が逆流することにより発症した。
2. 内視鏡検査で食道に炎症やびらんが認められた。
3. Ca²⁺ チャネル遮断薬を併用するとより症状が改善する。
4. 再発防止のため、この処方2を継続する必要がある。
5. 薬物療法に加えて禁煙や体重の減量などの生活指導が奏功する。

解答

問165 : 3, 4問166 : 2, 5

解説

問165

ランソプラゾールは、プロトンポンプインヒビター (PPI) です。PPI は、酸性条件下で不可逆的に H⁺,K⁺-ATPase を阻害します。

モサプリドは、5-HT₄ 刺激薬です。胃腸運動を促進させる働きがあります。慢性胃炎に伴う消化器症状に用いられます。

以上より、問 165 の正解は 3,4 です。

問166

選択肢 1 ですが

食道と胃の境界である「噴門」が緩むことにより胃酸逆流が起こりやすくなります。「下部括約筋の収縮によ

り」ではありません。よって、選択肢 1 は誤りです。

選択肢 2 は妥当な記述です。

胃酸が逆流し、食道の粘膜に炎症などが見られると逆流性食道炎です。

選択肢 3 ですが

Ca 拮抗薬は、降圧、狭心症などに用いられる薬です。本問の患者に、現処方に併用してもより症状が改善するとは考えられません。よって、選択肢 3 は誤りです。

選択肢 4 ですが

症状がおさまれば、薬物療法の継続は必要ありません。よって、選択肢 4 は誤りです。

選択肢 5 は妥当な記述です。

以上より、問 166 の正解は 2,5 です。